

Y's NEWS

2021年 5月 vol. 43

—ワイズニュース—



梅の七徳

今年は例年になく梅雨入りが早いぞね。

梅雨には「梅」という字が使われていますが、今回は江戸時代後半に伝わったとされる「梅干しの七徳」というものを紹介します。

・梅干しの七徳

1. 毒消しに効あり。ゆえにうどんには必ず梅干しをそえて出す。
2. 防腐に効あり。夏は飯びつの底に梅干し1個を入れておけばその飯は腐らず。
3. 病気を避けるに効あり。旅館では朝食に必ず梅干しを添えるを常とする。
4. その味かえす。
5. 臭うかいに効あり。走る際、梅干し1粒口に含めば臭切れる。
6. 頭痛を医するに効あり。婦人頭痛する毎に梅干しをこめかみに貼るを常とする。
7. 梅干しよりなる梅酢は流行病に効あり。

梅雨の時期は食べ物で傷みやすかったり、身体が疲れやすいので、是非梅干しを活用してみたいかでしょう。

発行 株式会社ワイズ

〒242-0007 神奈川県大和市中央林間3-7-13-3F

TEL: 046-240-9695 FAX: 046-240-9697

ホームページ: <https://ys-velvet.com>

メール: info@ys-velvet.com

営業時間: am 9:00 ~ pm 5:00 (土日祝は休み)

ご注文は税込15,000円以上で送料無料となります。



LINE ホームページ

ベルベットフラフィーのニニだけのお話

今回は、ベルベットフラフィーの成分について掘り下げていきます。

まず、今回はベルベットフラフィーの一番特徴的な成分「ピディオキシジル」についてお話します。
(ピディオキシジルは化粧品表示名「ピロリジニルジアミノピロリジンオキシド」で記載されています)

・ピディオキシジルとは

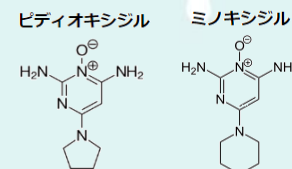
世界初の発毛力を持つ医薬品として、世界的にその名前が知られているミノキシジル。しかし、医薬品であるがゆえに副作用が存在します。

その、ミノキシジルと非常に似通った分子構造を持ちながら、副作用の心配がほとんどないという優れた成分が「ピディオキシジル」です。

ピディオキシジルは、別名ミノキシジル誘導体とも言われています。

構造式を見てみると、下の部分が六角形か五角形かの違いだけで、ほとんど違いがありません。これが同じ効果に対して副作用を軽減できている要因です。

「誘導体」とは、その成分がもともと持っている性質を変えない程度に、成分の分子を置き換えたり、配列を変えたりした化合物のことを言います。
副作用を取り除いたり、浸透力を上げたりすることも可能です。



・ピディオキシジルの効果

・血管を拡張する働き

ピディオキシジルの成分は、ミノキシジルと同じように血管を拡張する働きがあります。血管が広がることで血流が良くなり、血行が促進されて発毛に必要な栄養分が毛根に届き、毛髪が育ちやすい健康な頭皮になります。

・毛乳頭細胞に働きかける効果

ピディオキシジルは、髪の毛の成長を促す毛乳頭細胞に直接働きかけ、ヘアサイクルを正常に整えます。さらに毛乳頭そのものを増殖させる働きもあります。

・毛母細胞の活性化による発毛促進効果

ピディオキシジルは、眠ってしまっている毛母細胞を復活させる力があります。

ピディオキシジルの成分が毛母細胞に働き、毛母の細胞分裂を促進して毛包が成長し、健康な毛髪が育ちます。毛母細胞を活性化することで毛髪が再成長し、発毛成分の働きを促進します。